

<横浜市：パーク&サイクル社会実験>

施策名	パーク&サイクル社会実験
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シース など	背景 1：みなとみらい 21 地区などの都心部を中心とした慢性的な渋滞が、時間的、経済的な損失、都市の魅力低減などの要因となっている。 背景 2：都心部における土地利用は進んでおり、街路整備などによる混雑解消は非常に時間を要する。 背景 3：環境にやさしく、身近な自転車が注目を集めている。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	●目的・ねらい： - 都心部における交通混雑の緩和、駐車場待ち車両と路上駐車車の減少 - 自転車利用による都市環境への負荷の低減 - 来街者の交通利便性と回遊性を高め、都市の魅力を向上 ●対象交通：都心部に乗り入れ、また、移動する自家用車の自転車への転換
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	●平成 12 年度 平成 12 年 10 月 14 日（土）～10 月 29 日（日）まで、馬車道地下駐車場で短期間の社会実験を実施。 ●平成 13 年度 平成 13 年 8 月 4 日（土）～10 月 28 日（日）まで、馬車道地下駐車場と山下町地下駐車場で、3 ヶ月間の社会実験を実施。
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	●実施主体：横浜市道路局 ●検討組織：パーク&サイクル調査検討会 （学識経験者、国土交通省、県警、横浜市関係各局区） ●広報： - 市の広報紙：広報よこはま - チラシ：みなとみらい 21 地区などの施設内、首都高料金所、対象駐車場内、各区役所で配布 - ポスター：みなとみらい 21 地区や市役所などに設置 - HP：本市 HP - 新聞：記者発表 - タウン誌、地域新聞、CATV テレビ：投込 ●費用負担：補助事業（国土交通省街路交通調査費） 電動アシスト自転車（（財）自転車産業振興協会より無料貸与）

実施概要	●対象地域：みなとみらい21地区や関内・関外地区を中心とした都心部
対象地域 実施日時 施策内容 など	●実施日時：平成13年8月4日～10月28日の土・日・祝休日 10:00～20:00（最終貸出し18:00） ●施策内容： （貸出方法）当日、馬車道地下駐車場または山下町地下駐車場に車を駐車された方を対象として、駐車券と引き替えに、無料で自転車を貸出し。 （貸出台数）各駐車場に自転車30台 そのうち5台は電動アシスト自転車 （利用資格）身長125cm以上の方 （その他）自転車返却時にアンケートを実施し、回答者に（車一台につき）1時間分の駐車券を進呈。
効果測定内容	●効果測定内容：
測定内容 効果把握 など	・アンケート（利用者、来街者、実験実施駐車場利用者） ・GPSや加速度計によるIT機器を用いた自転車走行環境調査 ・MM21地区自動車交通実態調査 ●効果把握結果： <u>回遊性について</u> ・車と徒歩で移動するより行動範囲が広がったかについて、非常にそう思う・どちらかと思うと答えた方は約94% ・一般マイカー来街者の訪問施設数が約1箇所に対し、P&C利用者は約3箇所と平均訪問施設数が多くなった。 <u>駐車場待ちについて</u> ・駐車場待ちを気にしなくて良かったについて、非常にそう思う・どちらかといえば思うと答えた方は約90% <u>全体の感想</u> ・大変満足・やや満足を合わせて、約91%
取組上の課題	課題1：歩行者交通量の多いところや歩道の狭いところでの自転車走行と都心部内の駐輪場不足
合意形成 費用負担 など	課題2：自転車走行禁止エリアでの自転車走行などのマナーの問題 課題3：事業性を考慮した場合の料金設定やそれに伴う利用者動向の変動 課題4：都心部の交通体系のあり方とその中での自転車の位置付けの未整理
その他特記事項	今後の本格実施に向けては、課題解決が不可欠である。
今後の方向性 地域指定 等	

以上

都道府県市名：神奈川県横浜市
担当部局名：道路局計画部企画課